

様式1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名：片 松 雅 弘 〕

「地方議会改革の論点と課題」

四日市大学副学長

小林慶太郎講師

① 研修テーマに即した所感

地方議会改革というテーマは、幅が広い内容で議員が真剣にやる意思がないと全く持って進んでいかない。

特に議会、今更ですが議員全員が理解し、取り組むことが必要です。

その中で通年議会は今までにも議論されて着ましたが、時期尚早であるとかデメリットばかり言う議員が多い状況ですが、住民から期待される議会運営を行っていくうえで先に進むべきだと思います

お話された通年議会の事例の挙げ方は、抽象的で「地方議会改革」というお題としては、少し後ろ向きなお話だったように感じました（依頼の仕方でしょうか？）

通年議会のについては、前々から議題に上がっていて前年度の議長からも諮問されていていましたが、議会運営委員会が機能していないことで進めていない状況です。

議会は住民の意思を反映させ、意思決定機関として議会が主体性を持って議会運営をすべきなので通年議会を取り入れ、議長の本会議招集であるべきだと思います。

議会運営は議長のやる気と能力でずいぶん変わってしまいます。

言ってみれば議長次第で、議会としての活動や改革が、進むことも後退することもあります。

後ろ向きな意見ばかりではなく東員町議会が「チーム東員議会」として引っ張っていけるような議長を望みます。

議長任期については、もう既に委員会などは2年制になっているので当然、議長任期も2年にするべきです。またやって当然だと思います。

② 今後、研修で得た知識等について、町議会活動にどのように反映するか

現状の中での改革は無理だと思うので、私個人の議員としての資質を高めてさらに向上していきたい。

③ その他